

国家戦略特区ワーキンググループ（令和5年4月13日（木））における委員ご指摘事項【概要】

【エコー検査】

- 岡山大学で教育プログラムを作り、実証実験まで行ってきてもかかわらず、エコー検査を厚労省の検討会で議論していなかったという説明は許容できない。救急救命士によるエコー検査は、デジタル田園健康特区の非常に重要なテーマであるため、早急に議論の場を立ち上げて、早急に結論を出していただかなければいけないことだと考えている。
- 改めて方針を再検討いただいて、出し直していただくことが必要だと思っている。今回のワーキングヒアリングだけで何カ月も空いてしまうということでは、いつになったら実装できるのか、座礁してしまったような形になる。
- エコー検査については、スピード感をもって議論を進めていくことが必要。どのようなスケジュールで進めていくのかということについては、再度、厚労省と内閣府事務局で検討いただき、本ワーキンググループで議論したい。 [座長コメント]

【カテゴリーⅡ】

- カテゴリーⅡの4つの行為のうち①②について、令和5年度以降、どのようなスケジュールで進めるのかについて検討し、本ワーキンググループにご報告いただきたい。 [座長コメント]